



保育理念

KOKKO保育園は、「児童憲章」の精神と「児童福祉法」及び「子ども・子育て支援新制度」に基づき、「保育の必要性の認定」を受けた子どもを保育することを目的とする施設です。保育にあたっては、乳幼児一人ひとりの最善の利益の為、個性を尊重し、健やかな成長を援助することに努めます。

また児童福祉の積極的増進に寄与するよう地域社会や保護者の皆様と連携するとともに、職員一同が一丸となって取り組んで参ります。

基本方針

1. 子どもたちの「遊び」を大切にし、伸び伸びと健やかに成長する子どもの力を育む保育を目指します。
2. 子どもたちの健やかな成長の基礎となる、情緒的に安定した「家庭的雰囲気づくり」と「からだの健康づくり」を大切にした保育をめざします。
3. 人として生活することの基本となる「生活習慣や生活リズム」を子どもの成長に応じて身につけられる保育をめざします。（挨拶、食事、排泄、整理、整頓、集団行動など）



KOKKO保育園

保育目標

「あそべる子ども」

〈笑顔があり元気な保育園〉

笑顔があり元気な子ども・保育士・保護者

友達と関わりながらあそぶ〔協調性〕

工夫してあそぶ〔創造性〕

意欲的にあそぶ〔自主性〕



本園の特徴

- ◇「温水プール」での遊びやスイミング指導を通じ、子どもたちの伸び伸びとした「遊び心」や「からだの発達と健康」を育みます。（年中児・年長児 週1回）
- ◇楽しく覚えらるる「英会話教室」を通じ、日本人に多い英語への苦手意識の克服と異文化コミュニケーションへの対応力を育みます。（年中児 週1回、年長児 週2回）
- ◇自然や動物、地域社会などさまざまな「ふれあい体験の場」を通じ、子どもたちの好奇心や感情体験、学ぶ力などを育みます。
- ◇「ご家庭との連携」を重視し、保護者様と一体となって子どもの健やかな成長を見守り、育てる環境づくりをめざします。
- ◇当保育園では、設立当初より発達障害児の受け入れを積極的に取り組んでおり、1978年より専門家による「たけやり教室」を週二回開設しています。

